

サッカー国際親善試合「JapaFunCup」試合結果

U-18 東南アジア選抜チーム「ASIAN ELEVEN」 vs. U-18 東北選抜
～ ハーフタイムには Little Glee Monster が熱唱～

本日6月22日(土)、ナショナルトレーニングセンター J ヴィレッジ (福島県楡葉町、広野町)において実施した、U-18 東南アジア選抜チーム「ASIAN ELEVEN」 vs U-18 東北選抜のサッカー国際親善試合「JapaFunCup (ジャパファンカップ)」の試合は0-0のまま90分で決着がつかず、PK戦(5-4)の結果でASIAN ELEVENが勝利しました。

国際交流基金アジアセンターが公益財団法人日本サッカー協会(JFA)と共催し、日本と東南アジアの文化交流の祭典「響きあうアジア 2019」の一環として開催した「JapaFunCup」は、東南アジア 11 か国から選抜されたU-18 選手からなるチーム「ASIAN ELEVEN」と、東北各県出身から選抜されたU-18 選手からなるチームとが対決した大会です。会場となった J ヴィレッジは、スポーツ復興・震災復興のシンボルとしてだけでなく、東京2020オリンピック競技大会 聖火リレー出発地、ラグビーワールドカップのアルゼンチン代表合宿所など、世界と日本をスポーツでつなぐ拠点としても注目されています。本大会は、アジアセンターが2014年から行ってきた、東南アジアと日本の間におけるサッカー人材の育成、及び国境を越えて知識・経験の共有を図る事業の集大成として行われました。



ASIA IN RESONANCE
響きあうアジア 2019



開催場所：J ヴィレッジスタジアム
(福島県)

本大会は、アジアセンターがこれまで5年にわたり行ってきた、サッカーによる相互交流の成果を振り返る機会となりました。日本と東南アジアが、今後も共に切磋琢磨しながらサッカーの未来を考えていくことで、本事業が日本と東南アジアとの関係をさらに深めるための起点となると期待されます。なお、「ASIAN ELEVEN」は、東南アジアでも交流活動を展開していく予定です。

「ASIAN ELEVEN」監督は、元Jリーグ選手で現在は東南アジアでアンダー世代の育成に携わり、ミャンマーナショナルチームU-15 代表監督を務める古賀琢磨(こがたくま)氏、東北選抜監督は青森県出身の元サッカー選手で、復興支援特任コーチを務めたこともある手倉森浩(てぐらもりひろし)氏が務めました。古賀監督は試合を振り返り、「今回選ばれた各国の選手は、非常に能力が高く、良い試合ができた。これからも、こうしたチームで経験をつみ、アジア全体のサッカーの強化につながることを願っている」とコメントしました。手倉森監督は「試合に負けたのは残念だったが、東南アジアの選手のレベルの高さは予想以上だった。選手にとっては良い経験になったと思う。今後は東北サッカーの底上げも図っていきたい」とコメントしました。またASIAN ELEVENのキャプテンを務めたチャーンナロン・プロムシーケーオ選手(タイ)は、「今回様々な国の選手とプレーし、最初はコミュニケーションが難しい部分もあったが、サッカーは共通言語なので試合では問題にならなかった。とても楽しむことができた」と本大会を振り返りました。

ハーフタイムには、圧倒的な歌唱力で躍進するボーカルグループ Little Glee Monster によるミニライブを実施。本大会テーマソング「I BELIEVE」を披露し、会場を盛り上げました。



この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局(クレアブ株式会社内)

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com

ご報告

Little Glee Monster（ボーカルグループ）

【「ASIAN ELEVEN」テーマソング提供】

コメント：スポーツを通じた東南アジアと日本の文化交流の成果となる国際親善試合「JapaFunCup」の会場でライブを行うことができ、大変嬉しく思っています。同世代の選手の皆さんが懸命にプレーする姿を見ると、国が違っても夢を追いかける気持ちは同じと感じ、とても刺激を受けました。私たちが歌を通じて世界と繋がっていきたいと思います。



国際交基金理事長 安藤裕康

コメント：日本サッカーの歴史が刻まれ、東日本大震災の復興のシンボルでもあるJヴィレッジにて国際親善試合「JapaFunCup」を行い、アジアサッカーの未来を垣間見られたことを光栄に思っています。東南アジアでも愛されるサッカーというスポーツを通じ、アジアに共に生きる隣人との長期的な相互交流を後押しすることを目指して開催しました。これからも、文化交流事業を通してアジアの若い世代の皆さんを応援し続けていきたいと考えています。

【試合結果概要】

ASIAN ELEVEN 0-0、PK 5-4 (0-0、0-0) U-18 東北選抜

【国際親善試合「JapaFunCup」開催概要】

日時：2019年6月22日（土）

14:00 キックオフ

会場：Jヴィレッジスタジアム

所在地：福島県双葉郡楡葉町山田岡美シ森 8

主催：独立行政法人国際交流基金アジアセンター

共催：公益財団法人日本サッカー協会（JFA）

後援：外務省、復興庁、福島県、公益社団法人日本サッカーリーグ（Jリーグ）

【特設ページ】 <https://asian-eleven.jfac.jp>

※当日の Little Glee Monster の写真をご希望の際は別途ご連絡をいただけますと幸いです。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com



ご報告

【「ASIAN ELEVEN」選手一覧】

フルネーム	国籍	ポジション	生年月日	身長 cm/体重 kg	所属
モハammad・アイサン・アイズディン・ビン・アブドゥラー・モハammad・アイマン	ブルネイ	サイドバック	2002/2/2	169/55	Brunei National Academy U-18
11歳でサッカーの才能を見出され、2015年にはブルネイ・スポーツ・スクールに選抜。数年後、ブルネイサッカー協会全国エリート・ユース・サッカー・発展計画に参加するメンバーとして選ばれた。今シーズン、ブルネイ・プレミアリーグ（ナショナルリーグ2部）でゴールを決めている。足が速く、俊敏な動きを強みとする。スポーツマンシップの高さ、そして積極的で献身的なプレーも魅力である。					
モハammad・ハーフィズ・ビン・スリルディ	ブルネイ	サイドミッドフィールド	2001/5/10	165/50	Brunei National Academy U-19
14歳の時にポテンシャルが目出され、ブルネイ・スポーツ・スクールへの参加をオファーされた。2017年、ブルネイサッカー協会全国エリート・ユース・サッカー・開発計画のメンバーに選出され、現在も所属中。左利きとしての魅力だけでなく、明るい性格や品行方正な態度、そして機転が利くといった長所も特徴。					
ソエス・ナバ	カンボジア	サイドバック	2001/2/13	176/60	Boeung Ket Football Club
チームの良きキャプテンであり、強いリーダーシップを持つ。右サイドバックと左サイドバック両方でプレーできる器用な選手。AFF（ASEANサッカー連盟）、AFC（アジアサッカー連盟）U-16選手権（日本でキャンプを実施）やU-19選手権に代表選手として選抜。既にカンボジアの2部リーグでプレーし、国内の主要大会であるファン・セン・カップでもプレー。リーグではディフェンダーながら10得点を獲得。					
ライ・リーフェン	カンボジア	サイドバック	2002/10/16	160/53	U-18 Cambodia National Academy
小柄だが俊敏で、ディフェンス、サイドの攻撃を得意とする。利き足は右。技術力が高く、U-18カンボジア選抜の同ポジションでは抜きん出た才能の持ち主。クロス、切り返し、タイミングの良いパスを武器とし、左サイドでのカウンターアタックやフロントプレーヤーへのアシストなどチャンスメーカーとしての才能も持つ。スタミナと身体能力に優れ、フルタイムで能力を発揮できる。規律を重んじるプレー・スタイルで、責任感が強い。サッカーに対してとても情熱があり、将来、プロサッカー選手になるという強い意志がある。					
リズキ・リド・ラマダニ	インドネシア	センターバック	2001/11/21	179/70	Persebaya Surabaya FC U-19
背が高く、体の大きさが特徴的な選手。卓越したボディバランスと空中戦での高さを誇る。国内の主要大会において6ゴールを決め、得点王となった。後列から攻めを仕掛ける攻撃にも参加できるディフェンダーとして、Persebaya Surabaya FCでのプロ昇格候補生として強い期待が寄せられる。					
アルディ・マウラナ	インドネシア	攻撃的ミッドフィールド	2001/2/25	170/60	Persib Bandung U-17
高いサッカーインテリジェンスを持ち、ゲームを読む能力、ゲームのリズムを感じる力、ポジショニング能力、突破力、判断力に優れたオールラウンドな選手。14歳の頃から才能が開花し、2018年のインドネシアU-16国内主要大会で、最優秀選手に選ばれた。Persib Bandungでのプロ昇格候補生として強い期待が寄せられる。					
チョーニー・ウェンバサート	ラオス	サイドミッドフィールド	2002/11/27	165/50	Ezra Football Club
ビエンチャンの村出身。故郷で試験を受け、国内最高峰のアカデミーであるエズラフットボールセンターに入団した。その後、類まれな才能と得点能力を開花させ、2年連続でコバ・コカ・コーラカップでの優勝に貢献。これらの活躍がラオスU-16代表監督の目に留まり、チームに選抜された。代表チームでも高い得点能力を期待されている。					
ソンカン・シーチャンタウォン	ラオス	サイドバック	2002/4/13	178/57	Young Elephants FC
ビエンチャン生まれで、ビエンチャンユナイテッドでキャリアをスタート。卓越したリーダーシップを持ち、特に自陣ゴール付近のエリアで強さを発揮する多才なディフェンダー。U-14およびU-16ナショナルチームでキャプテンを務める。恵まれた体格とキャプテンシーで将来が期待されている。					
ハリス・ハイカル・ビン・アダム・アフカル	マレーシア	ボランチ	2002/6/22	175/70	Akademi Bolasepak Negara Mokhtar Dahari
テクニクに長け、知性のあるプレーが特徴。センターポジションでのプレーが得意で、空中戦や1対1に強く、攻撃も守備もできる。俊足ではないが、ピッチの上では献身的にプレーをし、常に全力で向き合う気持ちのこもった姿勢が評価されている。					
アリ・イムラン・ビン・スカリ	マレーシア	センターバック	2002/5/30	176/70	Akademi Bolasepak Negara Mokhtar Dahari
フィールドのオン・オフを問わずとも規律高く、よく走り、リーダーとしても適性がある。品行方正であり、センターバックとして戦術的にも、精神的にもチームへの貢献度が高い。1対1に強く、右足でのプレーが得意で、ボールの扱いも冷静かつ技術的にも長けており、試合を読む能力も高い。					

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com

ご報告

ネイ・リン・テツ	ミャンマー	ゴールキーパー	2002/4/13	178/68.3	U-18 Myanmar National Team
2015年からマンダレーフットボールアカデミーに所属し、U-15、U-16、U-18のミャンマー代表のゴールキーパーとして選出された。現在はミャンマーサッカー連盟のユースチームに所属し、U-21の地域リーグでプレーしている。ゴールキーパーとして高いスキルを持ち、将来性のあるプレーヤー。					
ピー・ピョー・アウン	ミャンマー	フォワード	2002/5/13	170/53.3	U-18 Myanmar National Team
2015年にマンダレーフットボールアカデミーに選抜された。ミャンマーサッカー連盟のユースチームにて、U-21の地域リーグでプレーする才能あふれる選手である。現在はU-18のナショナルチームにも所属し、2019年にバンコクで行われるAFF U-18選手権およびAFC U-18選手権、そして2020年AFC U-19選手権の予選に備えている。サッカーインテリジェンスがあり、ドリブルとクロスが得意。					
ジョン・アントネット・グチエレス・ベターニオ	フィリピン	ゴールキーパー	2001/4/11	188/78	Nazareth School of National University Football Club
長身を活かしたゴールキーパー。後方からの配球が得意で、チームのボールポゼッションをサポートする。ペナルティーキックのセーブ率が高く、速いシュートもセーブすることができる。クロスやコーナーも予測し、確実にキャッチする。1対1の状況でも臆さず体を投げ出す勇敢さを持つ。					
サミュエル・ルーベン ウィルヘルム・タトイ・チャバス	フィリピン	攻撃的ミッドフィールド	2001/10/19	173/65	Mendiola FC
左足での正確なキックとトラップが特徴。ミッドフィールドでもディフェンスでもプレーできる。昨シーズンすでに、フィリピンのU-19ナショナルチームの一員として、インドネシアで開催されたAFFトーナメントに出場経験がある。フィリピンの国内カレッジリーグのベストイレブンにも選出され、期待が寄せられている。					
ムハメド・ファルハン・ビン・ズルキフリ	シンガポール	フォワード	2002/11/10	160/52.5	Hougang United Football Club U-18
技術力が高く、素早い動きが持ち味のアタッカー。小柄ながら、ディフェンダーに自信をもって挑む。ピッチ外でのリーダーシップや規律の高さでも評価を得ている。ナショナル・ユースチームでは上の年代とプレーをしており、サッカーでのキャリアにおいて、素晴らしい潜在能力を持つ選手である。 *諸事情により、シンガポールからは参加選手が1名となりましたのでご了承ください。					
チャーンナロン・プロムシーケオ	タイ	攻撃的ミッドフィールド	2001/4/17	171/60	Chonburi FC
タイ・リーグ、Chonburi FCの最年少のプロプレーヤー。パスが上手で賢い選手。体は小さいが俊敏に動き、試合では常に全力を尽くす。U-17とU-19代表にも選抜。ゲームメイクが巧みで、アシストはもちろん、自身でもゴールを決める。					
ナッチャー・プロムソンプーン	タイ	ボランチ	2001/2/8	175/56	Pattana FC
パスとシュートを得意とし、高い技術を誇る。ロングボールもショートパスもこなし、ボールキープに長ける。ハードワークもでき、フィールド上ではファイターのように勝利を目指して戦う意志を90分間見せる選手。U-17とU-19のナショナルチームで活躍中。					
モウジーニョ・バレット・デ・リマ	東ティモール	サイドミッドフィールド	2002/6/26	165/60	SLB Laulara
2011年、全く無名だった時、基礎技術習得のために合同練習へ参加し、その場でその豊かな才能が認められた。高いスキルとトレーニング中に見せるアクロバティックな身体能力が認められ、10代前半で名門クラブSLB Laularaにてプレーを開始。同時に、U-12から現在まで、東ティモール代表チームの選手として選出され続けている。					
グマリオ・A. F. ダ・シルバ・モレイラ	東ティモール	サイドミッドフィールド	2001/10/18	175/62	Boavista FC
2010年、基礎技術習得のために合同練習へ参加、その人柄の良さ、サッカーインテリジェンス、そしてその才能をコーチに見出され、注目を集める。その後も高いパフォーマンスと技術により、10代前半で名門クラブBoavista FCに参加。U-12から現在まで、東ティモール代表チームの選手として選出され続けている。					
グエン・タイン・コイ	ベトナム	攻撃的ミッドフィールド	2001/11/18	169/66	Hoang Anh Gia Lai FC
2013年に12歳でホアン・アイン・ザライ JMG アカデミーに入団。5年後の2018年にデビューを果たす。U-19ホアン・アイン・ザライFCのキャプテンとしてU-19Vリーグ(ベトナムプロサッカーリーグ)に出場、高いパフォーマンスを発揮し、U-18ベトナム代表に選出される。小柄ながらフィジカルコンタクトに秀で、全体の流れを読んでゲームのリズムを生み出すことができる。 *諸事情により、ベトナムからは参加選手が1名となりましたのでご了承ください。					

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com

【U-18 東北選抜選手一覧】

フルネーム	出身県	ポジション	生年月日	身長 cm/体重 kg	所属
菅原 新	岩手県	フォワード	2001/9/17	171/68	専修大学北上高等学校
野月 俊	青森県	フォワード	2001/4/29	170/68	三本木農業高等学校
伊藤 大貴	宮城県	フォワード	2001/8/5	185/74	宮城県工業高等学校
及川 魁士	岩手県	フォワード	2001/12/2	179/67	遠野高等学校
高橋 夢斗	秋田県	ミッドフィールド	2001/4/26	175/65	ブラウブリッツ秋田ユース
内山 颯太	秋田県	ミッドフィールド	2001/7/18	172/60	新屋高等学校
中野 軍	青森県	ミッドフィールド	2001/11/6	175/65	八戸工業大学第一高等学校
酒井 彪我	福島県	ミッドフィールド	2001/7/23	165/65	ふたば未来学園高等学校
馬場 涼平	岩手県	ミッドフィールド	2002/1/22	173/62	遠野高等学校
渡邊 拓磨	岩手県	ミッドフィールド	2002/1/19	170/62	遠野高等学校
大久保 竜真	山形県	ミッドフィールド	2001/9/5	172/65	米沢中央高校
原田 拓真	秋田県	ディフェンダー	2001/10/22	181/71	ブラウブリッツ秋田ユース
佐藤 大河	宮城県	ディフェンダー	2001/9/6	177/70	東北学院高等学校
大槻 陽平	宮城県	ディフェンダー	2001/12/25	179/75	塩釜 FC ユース
佐々木 勇輔	宮城県	ディフェンダー	2002/2/6	175/73	ベガルタ仙台ユース
菊池 史哉	岩手県	ディフェンダー	2001/7/8	170/64	遠野高等学校
吉田 陽輝	岩手県	ディフェンダー	2002/3/9	178/65	専修大学北上高等学校
高村 諒	福島県	ディフェンダー	2001/12/12	170/63	ふたば未来学園高等学校
高橋 聖和	秋田県	ディフェンダー	2001/4/26	181/72	ブラウブリッツ秋田ユース
井浦 拓磨	福島県	ゴールキーパー	2002/3/10	186/74	学法石川高等学校
佐々木 悠斗	福島県	ゴールキーパー	2001/6/14	178/73	聖光学院高等学校

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com

ご報告

【関係者 試合前コメント・プロフィール】

試合に向けた古賀琢磨監督、手倉森浩監督のコメント、「JapaFunCup」オフィシャルサポーターであるチャナティップ・ソングラシン選手（北海道コンサドーレ札幌）のコメント、および公益財団法人日本サッカー協会会長 田嶋幸三氏のコメント、ならびにプロフィール等についてはこちらのプレスリリースをご確認ください。

6月6日発表プレスリリース：

タイ出身 Jリーガー チャナティップ・ソングラシン選手（北海道コンサドーレ札幌）

6月22日（土）U-18 国際親善試合のオフィシャルサポーターに就任！

U-18 東南アジア選抜チーム「ASIAN ELEVEN」vs. U-18 東北選抜 国際親善試合「JapaFunCup」

国際交流基金アジアセンター主催、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）共催

<https://www.jpfa.go.jp/j/about/press/2019/007.html>

「ASIAN ELEVEN」および「JapaFunCup」について

ASIAN ELEVEN は、国際交流基金アジアセンター、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）が、東南アジアと日本の間におけるサッカー人材の育成、及びサッカーを通じた人々の相互理解の促進を目的として、2014年に開始したサッカー交流事業。これまでに、166人の指導者を日本から派遣し、3,000人以上の東南アジアの若いサッカー選手に指導を行ってきました。今年、本交流事業の成果発表の場として、東南アジア各国から男子18歳以下のメンバーを選抜し、チーム「ASIAN ELEVEN」を結成。デビュー戦として、6月22日（土）、福島県のJヴィレッジにて国際親善試合「JapaFunCup（ジャパファンカップ）」を開催しました。

「響きあうアジア 2019」について（<https://asia2019.jfac.jp/>）

国際交流基金アジアセンターが主催する、日本と東南アジアの文化交流事業を幅広く紹介する祭典。国を超え共に創り上げた舞台芸術や映画から、「ASIAN ELEVEN」国際親善試合、「日本語パートナーズ」のシンポジウムまで、お互いの文化が刺激あって生まれたイベントで構成されます。国際交流基金アジアセンターがこれまで5年にわたり行ってきた相互交流の成果を振り返るとともに、日本と東南アジアとの関係をさらに深めるための起点となることが期待されています。なお、「響きあうアジア 2019」は、同年に東南アジアでも展開予定です。



国際交流基金アジアセンターについて（<https://jfac.jp/>）

国際交流基金アジアセンターは、2014年4月に国際交流基金内に新設された特別ユニットで、アジアの人々の間に共感や共生の心を育むため、「日本語学習支援」と「芸術・文化」を柱に、様々な分野で双方向の文化交流事業を実施しています。



日本サッカー協会（JFA）について（<http://www.jfa.jp/>）

日本サッカー協会は「日本代表の強化・組織」「各年代カテゴリーにおける競技会の実施」「選手・指導者・審判員の登録と育成」を行う、日本サッカー界を統括する代表組織。「国際交流・アジア貢献活動」にも力を入れており「サッカーを通じて子どもたちに明るい未来を与え、アジアサッカーの普及・発展につなげる」ことを目指し、46の国と地域が加盟するアジアサッカー連盟（AFC）のモデル協会として、AFC加盟協会に対するさまざまな支援活動を行っています。



この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金アジアセンター「ASIAN ELEVEN」広報事務局（クレアブ株式会社内）

川口、矢島、多田、友廣、渡辺

Tel: 03-5404-0640 / Fax: 03-5404-7120 / E-mail: AsianEleven@kreab.com